

様式第15の4（第11条の4関係）

【書類名】 弁明書
（【提出日】 令和 年 月 日）
【あて先】 特許庁長官 殿
（特許庁審判長 殿）
【事件の表示】
【出願番号】
【弁明をする者】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
【代理人】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
【発送番号】
【弁明の内容】
【提出物件の目録】

〔備考〕

- 1 「【弁明をする者】」の欄に記載すべき者が2人以上あるときは、次のように欄を繰り返し設けて記載する。

【弁明をする者】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
【弁明をする者】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】

- 2 その他は、様式第2の備考1から4まで、10から14まで、16から18まで及び22から25まで、様式第4の備考1、2及び4並びに様式第13の備考8と同様とする。この場合において、様式第2の備考16中「弁理士法施行令（平成12年政令第384号）第7条第2号及び第12号の期間の延長の請求」とあるのは「弁理士法施行令第7条第14号の弁明書の提出」と、様式第13の備考8中「【補正の内容】」とあるのは「【弁明の内容】」と読み替えるものとする。